

戸田康之さん『片手手話』（9月5日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日は、片手手話についてお話しします。

以前、車を運転していた時に、バッテリーが上がってしまったようで急に車が走らなくなり、アクセルを踏んでもだめで止まってしまいました。エンジンもかかりません。どうしようと焦ったのですが、保険会社に連絡しなければと考え、電話リレーサービスを登録しているのので、気持ちを落ち着けてリレーサービスにかけました。車の中にいたのですが、スマートフォンを置く場所がありません。どこかに立てかけて話をしたかったのですがその場所がなく、仕方がないので片手でスマホを持ったまま、右手だけの片手手話で通話をしました。手話通訳のオペレーターにつながり、車が故障してしまったので電話をかけたいことなど全て片手手話で話し続けましたが、オペレーターはきちんと通訳してくれました。手話通訳は、普通に読取通訳ができるだけでなく片手手話を読み取る技術も必要なんですね。

ろう者は、両手で手話をしますが、運転中に片手手話をやることもありますし、片手に何か持ったままもう片方の手だけで手話をするということが、日常生活の中ではよくあります。ですから、手話通訳も両手だけでなく片手手話を読み取る技術が大切です。

今、地元の手話講習会で、入門に引き続き基礎クラスの講師をしています。今まで両手で手話指導をしてきましたが、ためしに片手手話で話しかけてみました。すると両手では理解できたものが片手手話になるととたんに読み取れなくなりました。両手でだけでなく片手手話も読み取れるように頑張りたいと思います。